

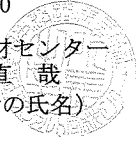
産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 20 日

静岡県知事 殿

提出者
住所 静岡県富士市五貫島1088番10

氏名 日本道路株式会社 静岡合材センター
所長 佐藤直哉
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0545-61-6276

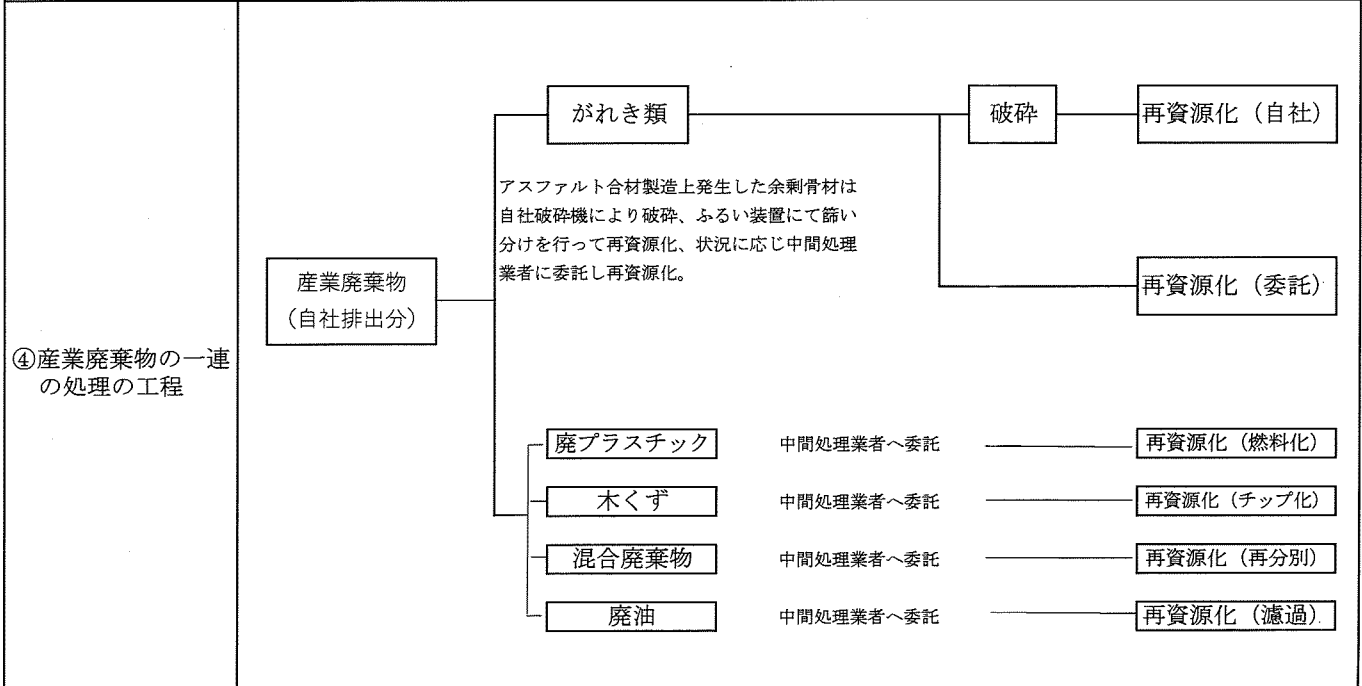


廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本道路株式会社 静岡合材センター	
事業場の所在地	静岡県富士市五貫島1088番10	
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日 から	令和 7 年 3 月 31 日 まで

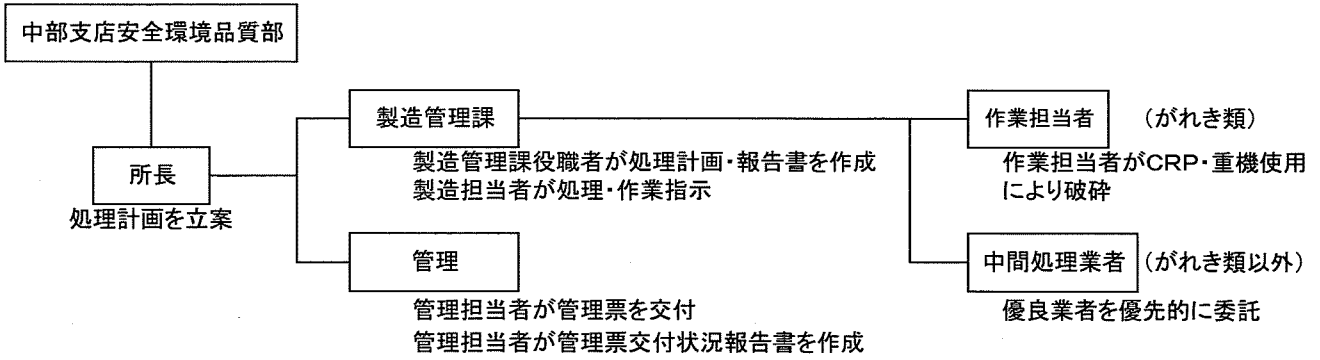
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	アスファルト合材の製造および販売
②事業の規模	前年度売上 369,322千円
③従業員数	8名



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状								
【前年度 (R5 年度) 実績】								
産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック	木くず	混合廃棄物	廃油			
排出量	9,192.00 t	5.01 t	3.03 t	1.56 t	0.72 t	t	t	t
産業廃棄物の種類								
排出量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)								
日々業務における、再生品に満たないもの（出荷の際発生するプラントからの抜取材料等）や製品に満たないもの（ミスバッチ・プラント試験練等）について、通年破碎し再生骨材として再利用するが、自社排出分で処理出来ず蓄積していたものを、2023年度に纏めて中間処理業者へ委託し搬出した。								
② 計画								
産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック	木くず	混合廃棄物	廃油			
排出量	0.00 t	5.00 t	3.00 t	2.00 t	1.00 t	t	t	t
産業廃棄物の種類								
排出量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)								
自社排出分については破碎し再利用を行う体制の為、多量の排出予定は無し。								

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状		(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
		・廃プラスチック・木くず・混合くずについては各専用回収BOXを設置し、分別した上で定期的に処分を行っている。
② 計画		(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
		・がれき類は定期的に破碎し、減量について職員・作業員に周知を行う。 ・廃プラスチック・木くず・混合くずについては各専用回収BOXを設置し、分別した上で定期的に処分を行う。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

		【前年度 (R5 年度) 実績】		実績なし					
① 現 状	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)								
【目標】									
② 計 画	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の計画)								

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

		【前年度 (R5 年度) 実績】		実績なし					
① 現 状	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)								
【目標】									
② 計 画	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により 減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により 減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の計画)								

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度 (R5 年度) 実績】		実績なし							
① 現状	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
② 計画	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
【目標】									
① 現状	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
② 計画	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度 (R5 年度) 実績】		実績なし							
① 現状	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック	木くず	混合廃棄物	廃油			
	全処理委託量	9,192.00 t	5.01 t	3.03 t	1.56 t	0.72 t	t	t	t
② 計画	優良認定処理業者への処理委託量	3,217.20 t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	5,974.80 t	5.01 t	3.03 t	1.56 t	0.72 t	t	t	t
① 現状	認定熱回収業者への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
② 計画	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
① 現状	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
② 計画	認定熱回収業者への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
<p>日々業務における、再生品に満たないもの（出荷の際発生するプラントからの抜取材料等）や製品に満たないもの（ミスバッチ・プラント試験練等）について、通年破砕し再生骨材として再利用するが、自社排出分で処理出来ず蓄積していたものを、2023年度に纏めて中間処理業者へ委託し搬出した。</p>									

【目標】									
① 計 画	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック	木くず	混合廃棄物	廃油			
	全処理委託量	0.00 t	5.00 t	3.00 t	2.00 t	1.00 t	t	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者 への処理委託量	0.00 t	5.00 t	3.00 t	2.00 t	1.00 t	t	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者 への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t	
認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
(今後実施する予定の取組)									
<p>自社排出分については破砕し再利用を行う体制の為、多量の排出予定は無し。</p>									
※事務処理欄									